

ちょっと古い話になりますが、今年四

月の統一地方選挙では、多くの女性候補者が出馬し、話題を集めました。それら女性候補者のほとんどが「普通の主婦」で彼女たちのご主人やお子さんたちとの関係もニュースになりました。

やはり多くの女性候補者を出したある団体で、選挙後、本をつくろう、という話がでました。というのも、日本には子供が読めるような政治家の本がないのです。アメリカだったならば、子供達は小さなところからワシントンやリンカーンの話に親しみ、政治は身近なものとなります。ところが日本ではせいぜい田中角栄の話ぐらい。手本にはなりません。

選挙は大変な事業です。子供たちにもかなりソワよせがいきます。だからこそ立候補した主婦やその手伝いをした主婦たちは、きっと選挙の前には「お母さんたちは、この理由で選挙をする」と何か子供たちを納得させた論理をもつていています。

想とは違っていました。つまり、母親は子供を納得させてはいなかつた、というのが明らかになってきたのです。唯一納得させた論理というのが「4月○日まで

がまんしなさい」という、およそそまつなものでした。だから、子供たちは選挙とは何なのか、母親がどうして家にいるのか、全く理解していなかつた、というものが子供たちへのヒアリング調査からよくわかりました。

幼児の教育 第八十六巻 第八号  
八月号 ◎  
昭和六十二年七月二十五日 印刷  
昭和六十二年八月 一日 発行  
東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
編集兼  
発行人 本 田 和 子  
定価 四〇〇円

東京都文京区大塚二ノ一ノ一  
お茶の水女子大学附属幼稚園内  
発行所 日本幼稚園協会

印刷所

東京都千代田区神田小川町三ノ一

印刷所 株式会社 フレーベル館  
発売所 振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします

※万一製造不良の点がございましたら、おとりかえいたします。